

2年次前期・必修

1単位・15時間

【概要・目的】

本科目は、近代医学・医療の急激な進歩に伴って表面化してきた人間の生と死をめぐる諸問題を俎上に載せ、基本的人権としての生存権、生活権、健康権とともに、医療の場における患者の自決権が如何に保障されるべきかについて考究し、医療の担い手の基本的な資質として求められる患者の人権を尊び守る態度の涵養を図る。

【到達目標】

- 1) 生命倫理にかかわる諸問題を知る。
 - 2) それら諸問題について、倫理的な判断を筋道立てて行える。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 倫理（学）的思考もしくは判断の基礎
 - 2) 医療倫理と生命倫理学
 - 3) 善さ・正しさとは：規範倫理学の諸理論の概説
 - 4) 看護に携わる者の倫理
 - 5) 生命倫理の展開—医療の担い手の職業倫理と患者の権利
 - 6) 尊厳死と安楽死をめぐって
 - 7) ヒトの誕生と生殖医療
 - 8) 資源の配分——医療における「正義」の問題
-

【評価】

筆記試験（90%）、出席状況および参加態度など（10%）

【教科書】

プリントを配布する

【推薦参考図書】

適宜紹介する。

【その他】 メールアドレス mappy0905@hotmail.co.jp